

令和7年度 市政アンケート調査 第4回結果報告(概要版)

1. 市政アンケート調査の概要

- | | |
|-----------|--|
| (1) 目的 | ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。 |
| (2) 調査対象者 | 福岡市内に居住する満18歳以上の市民636人(就任時)
①選考方法: 住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
②任期 : 令和7年4月4日から令和8年3月31日まで |
| (3) 調査方法 | 【案内: 郵送・メール、回答: 郵送・インターネット】 |
| (4) 調査主体 | 福岡市 市長室 広聴課 |

2. 第4回調査の概要

- | | |
|------------|--|
| (1) 調査時期 | 令和7年8月25日から9月8日まで |
| (2) 調査対象者数 | 628人 |
| (3) 回答者数 | 523人 |
| (4) 有効回答率 | 83. 3% |
| (5) 調査テーマ | ①「選挙」について
②「福岡市の姉妹都市交流」、「福岡アジア文化賞」について
③「家庭ごみ」について |

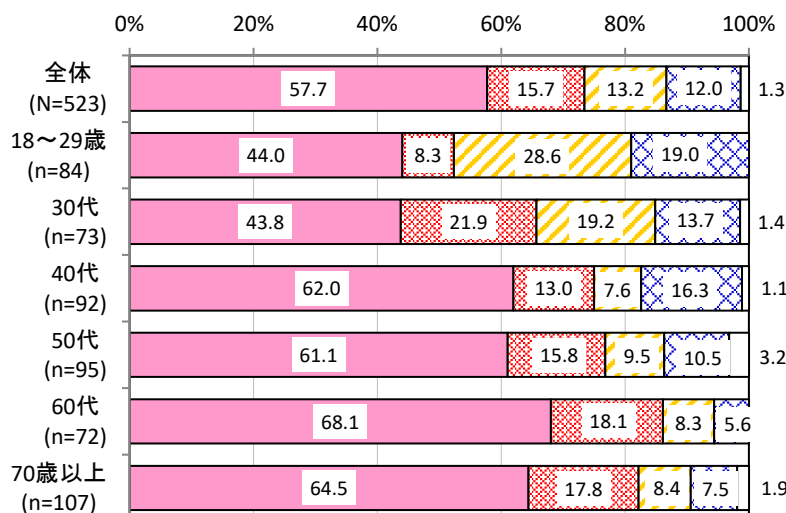
3. 注意点

- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

①「選挙」について(N=523)

※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したもの
例:『優先したい』=「優先したい」+「どちらかといえば優先したい」

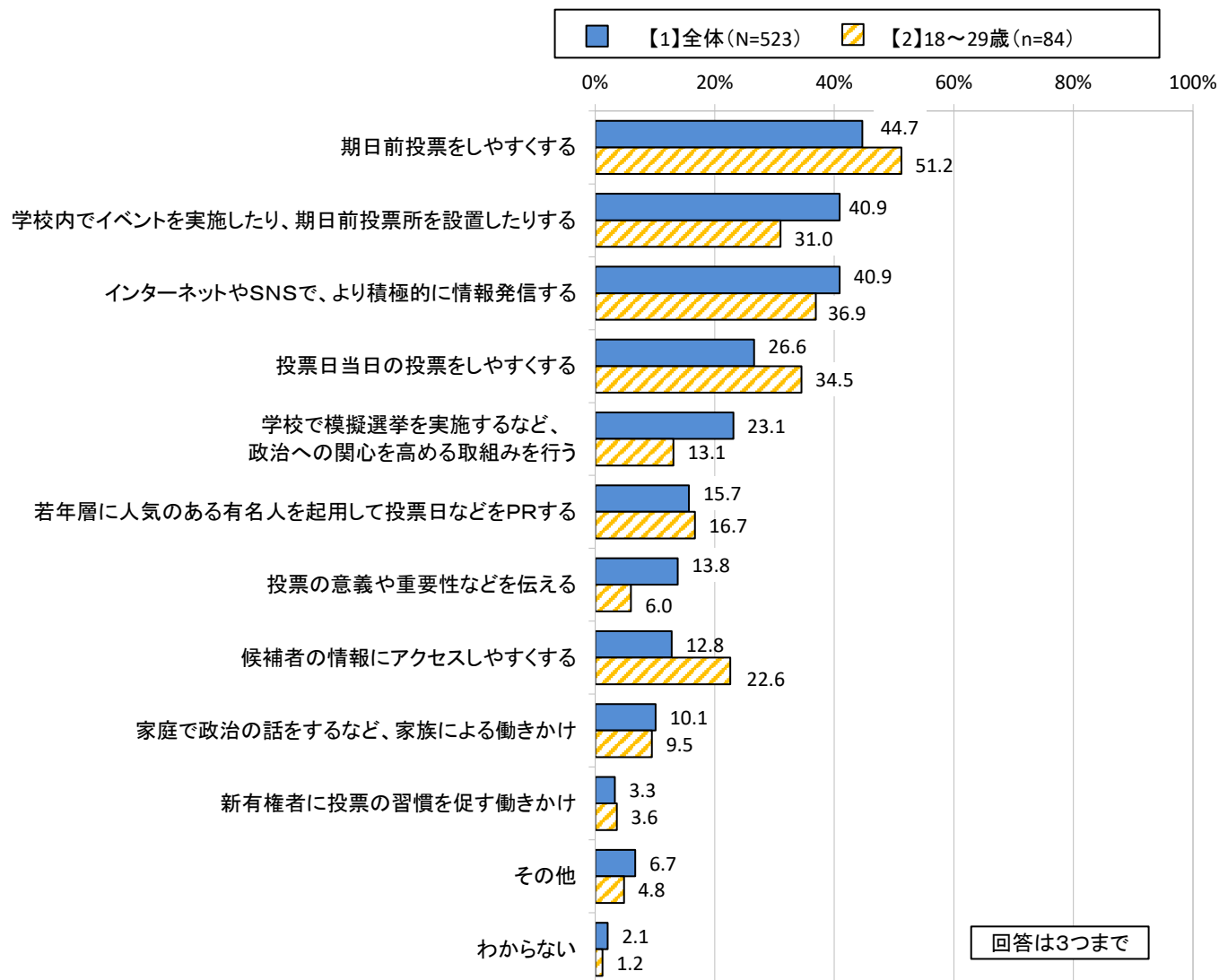
《過去3回の選挙での投票状況》



すべて投票した
2回投票した
1回投票した
投票していない
無回答

過去3回(令和6年衆議院議員総選挙、令和7年福岡県知事選挙、令和7年参議院議員通常選挙)の選挙で5割以上の方が「すべて投票した」と回答しています。年代別にみると、「すべて投票した」と回答した方は18～29歳と30代で約4割となっており、他の年代と比べて割合が低くなっています。

《若年層の投票率を向上させるためにはどのようなことが必要か》

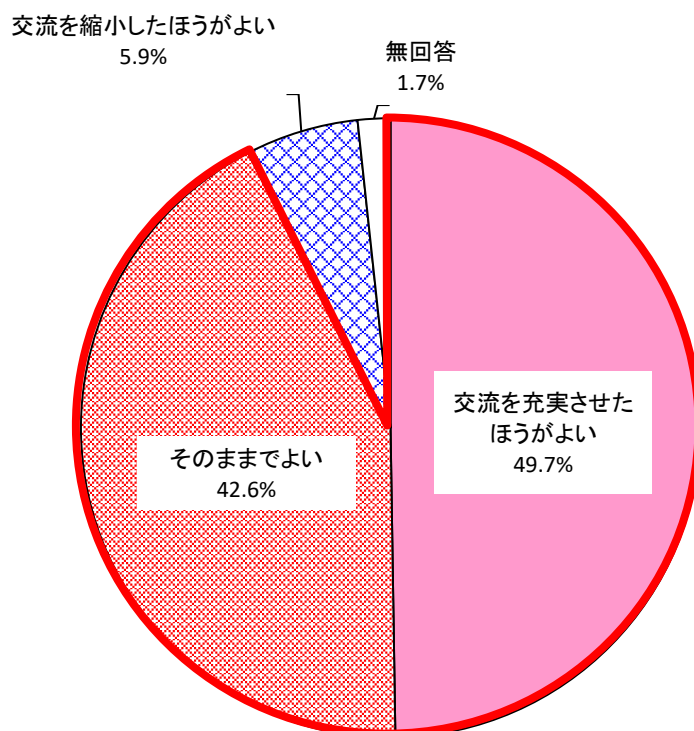


回答は3つまで

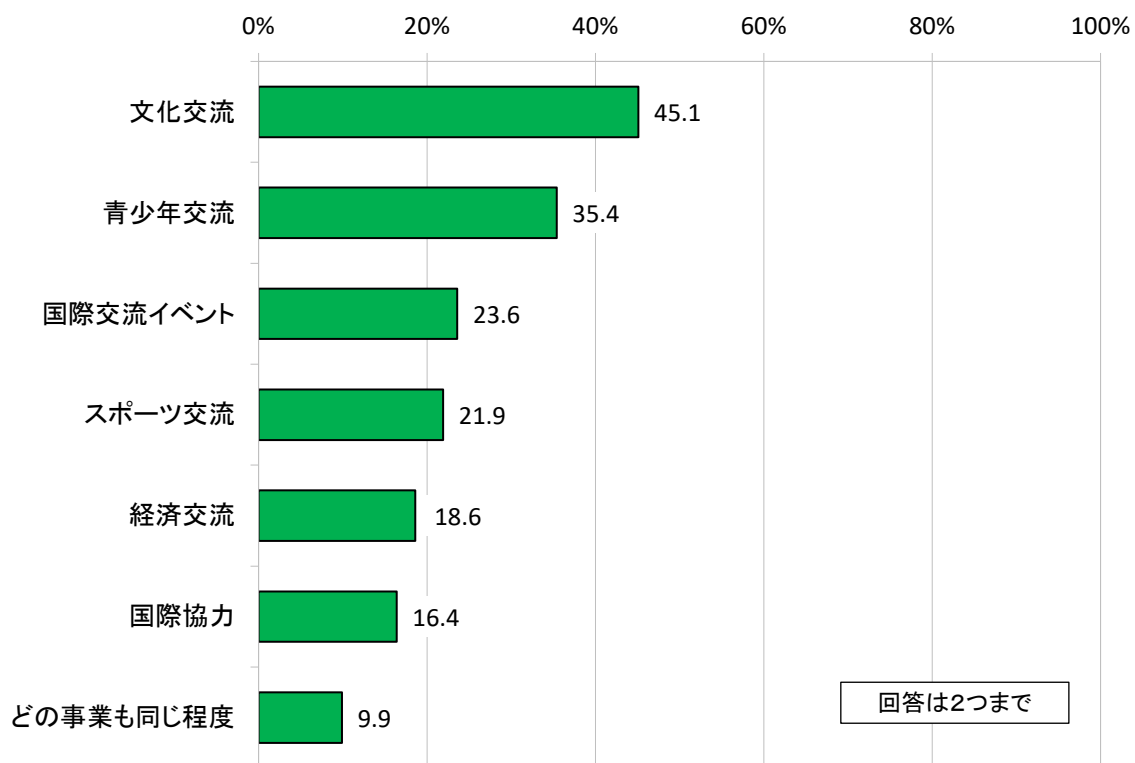
【1】「全体」、【2】「18～29歳」のいずれにおいても「期日前投票をしやすいとする」と回答した方が最も多くなりました。項目別にみると、「候補者の情報にアクセスしやすいとする」と回答した方は【2】22.6%が【1】12.8%よりも9.8ポイント高くなりました。

②「福岡市の姉妹都市交流」、「福岡アジア文化賞」について(N=523)

《今後の福岡市と姉妹都市との交流について》

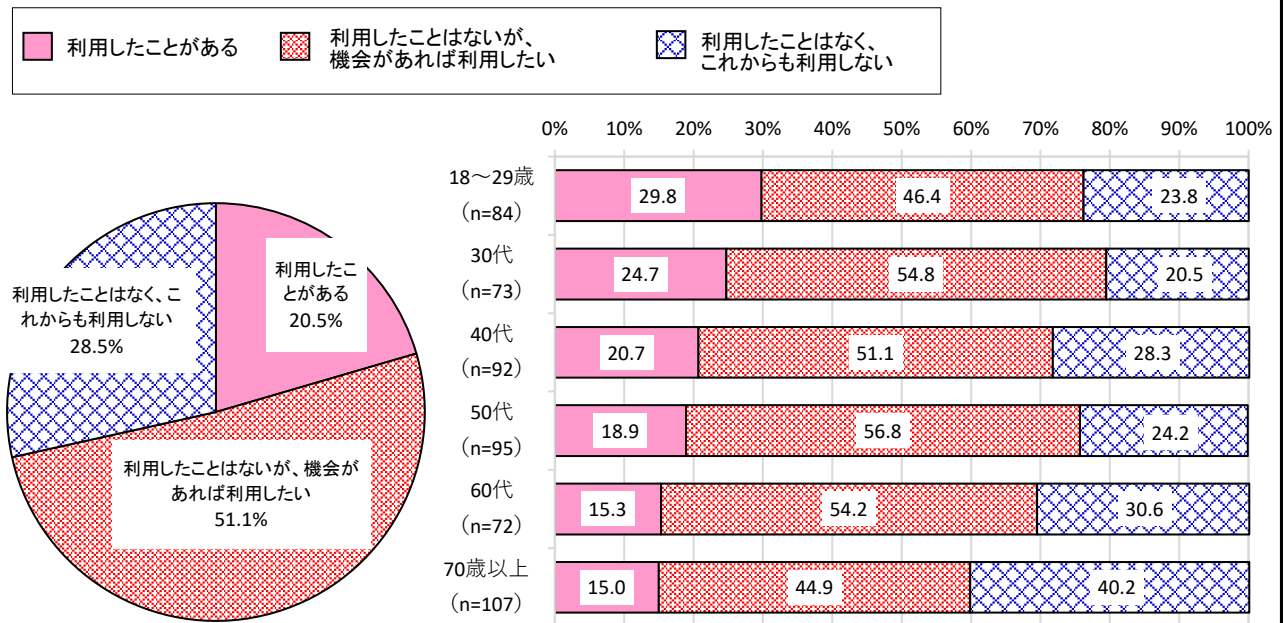


《姉妹都市交流事業のうちどの事業に力を入れるべきか》(n=483)



③「家庭ごみ」について(N=523)

《「ふくレジ」※の利用経験、需要》

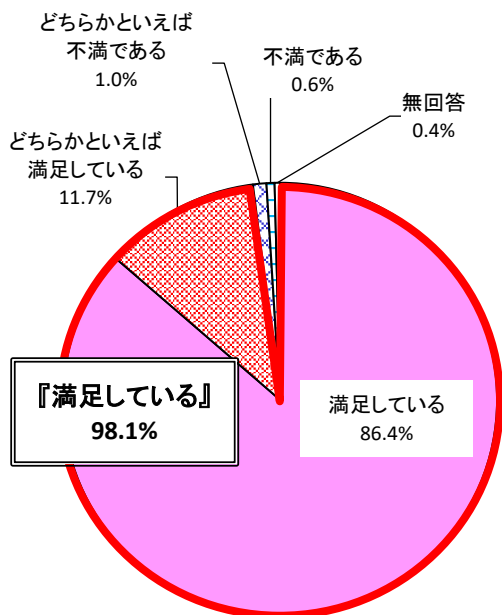


「ふくレジ」を「利用したことがある」と回答した方は全体の20.5%でした。
年代別にみると18～29歳で最も高く、29.8%となりました。

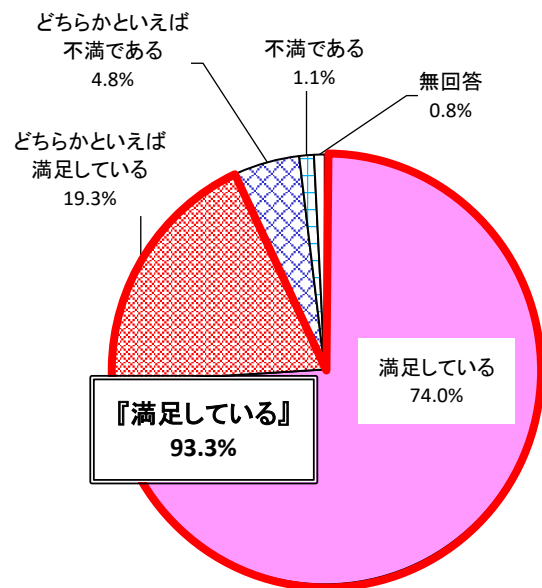
※「ふくレジ」とは
福岡市では、令和6年11月から、コンビニやスーパー等で家庭用燃えるごみ指定袋として使えるレジ袋「ふくレジ」(10Lと15L)の販売を開始しました。



《夜間収集についてどう感じているか》



《戸別収集についてどう感じているか》



夜間収集について『満足している』と回答した方は98.1%でした。
また、戸別収集について『満足している』と回答した方は93.3%でした。